

ベトナムにおける現地情報

2022 年 9 月 15 日

ASIA GATE VIETNAM CO., LTD.

豊田英司

【コロナ及び渡航関連ニュース】

(9月7日より日本帰国時の検査証明書(PCR 検査)の提示が不要になりました)

ご存じの方も多いかと思いますが、先日、日本政府は 2022 年 9 月 7 日以降に日本へ帰国(入国)する者については 3 回目の新型コロナワクチン接種が完了しておれば、従来求められていた「現地出発 72 時間前以内の PCR 検査陰性証明書」の提出が免除される旨、発表されました。

(参考)

帰国者の「陰性証明書」提示不要に、来月 7 日から…ワクチン 3 回接種条件に (読売新聞オンライン)

<https://www.yomiuri.co.jp/politics/20220824-0YT1T50174/>

これによってベトナムと日本との往来に伴うコロナ関連の事前検査などは無くなり、より一層の往来の増加が期待されています。

(ベトナムで再びコロナによる重症患者が急増)

すっかり、「脱コロナ」「ウィズコロナ」という雰囲気ของベトナムですが、実はまだまだコロナ感染による重症者は増えている状況で、ベトナム保健省は感染への警戒を引き続き強めるよう国民に呼び掛けています。

ベトナムでは過去 1 週間で、1 日当たり平均 2 5 0 0 人の感染者が確認されています。

ベトナム在留の日本人の方や出張者の方でもコロナ感染されたという報告が出ており油断できない状況であることは間違いないと思います。

【経済関連ニュース】

(中国からの生産移管による大手メーカーのベトナム投資拡大が続いています)

従来、中国で生産されていたスマホ製品のベトナムへの生産移管が加速しています。

これは米中対立によるものはもちろん、中国の人件費向上、販売低迷の両方の要因によるものも大きいと思います。

生産移管先の中心は中国国境から近く、港もあるベトナム北部が中心です。

移管しても部品の多くは中国で現在、使用されている部品を使用しますので、移送が容易な北部を選ぶケースが大半です。

スマホだけでなくアップル製品のベトナムへの移管も進んでいます。これもやはり、中国から近いベトナム北部が中心です。

このようにベトナム北部はどんどん大きな製造工場が増えており、既存の企業におけるワーカーの採用はますます厳しい状況になると予想されています。

(消費者物価指数は一旦、落ち着き、年間予想も4%範囲内に、という観測ひろがる)

=====

2021年8月のCPI 前年同月比

ベトナム全体 +2.89% (前月 +3.14%)

=====

ベトナム統計総局発表の2022年8月の消費者物価指数の前年同月比は2.89%の上昇と3カ月ぶりに3%を下回り(6月:3.37%上昇、7月:3.14%上昇)、幾分落ち着きました。

ガソリン価格の落ち着きが大きな要因かと思います。

ベトナムではガソリンなど石油製品の小売価格は政府が決定していますが、その上限が8月11日まで5回連続で引き下げられ、レギュラーガソリンに相当する「E5 RON92」の上限価格は、過去最高値を更新した6月末から25%近く下落しています。

これに伴い8月にはタクシー運賃は6～12%、バスは5～14%、鉄道は3～5%下落したと運輸省は報じています。

あわせて、政府目標の年間インフレ率4%以内についても、その範囲内で収まるのではないかという予想も出始めております。

この

「年間の物価上昇指数4%以内」

はここ数年、ベトナム政府が常に掲げている目標であり、ここ数年来、この範囲内で収めています。

ですので、逆にこれを上回るとなると社会的には一気に「狂乱物価だ!」というような雰囲気になり、「例年にない賃上げの要求圧力」が高まることは目に見えています。

景気回復が伝えられるベトナムですが、一方で、いまだにコロナによって職を失った人々は以前に比べて低賃金の仕事で再就職しているケースなどもあり、そういった不満の存在は想像以上に大きい可能性があり、人事施策を考える上では重要な要素となろうかと思えます。

以上